

大阪の「今」を伝えます! MONTHLY NAGAFUJI TIMES
月刊 永藤タイムズ
 平成26年8月号 発行:永藤英機事務所 Vol. 3

堺の観光政策は大きな視野で 大阪観光局ディスカッション

これまで大阪府と大阪市が別々に行ってきた観光政策。それを戦略的に行い大阪に多くの観光客を呼び込むため、大阪府市と経済界が一體となったプロ組織として昨年4月に「大阪観光局」が発足しました。初年度の平成25年に大阪を訪れた外国人旅行者数は前年比29%増の262万人と上々の滑り出しがなっています。現在大阪観光局で行っている観光客誘致の先進的な取り組みの数々は堺にとって決して他人事ではありません。そこで、この度7月28日に大阪観光局を訪れ、観光局長の加納國雄氏と「堺の観光政策」について意見交換を行いました。

外国人が興味を持つている。意見交換を行いました。



まとめ
 加納局長: 日本は昔から「自分の藩だけ」という考え方がある。しかしそれでは情報はなかなか外に出ない。せっかく大阪観光局が出来たのだから、ぜひ堺の皆さんと一緒に一緒に働いていかないといけない。
 永藤: 堀の観光政策を考える上で、私は「堺は堺だけで」と固執することなく大手で、ウォーキングツアーやエコツアーや観光素材は色々な所にあると考えている。私たちも実際に訪れて魅力を発掘したい。

大阪の観光政策



府政トピックス 大阪ベイエリアが変わる!IR(統合型リゾート)誘致



大阪府ではIRの誘致を目指しています。カジノ、高級ホテル、ショッピングセンター、劇場、国際会議場など多様な施設を含むIRは国内外から多くの観光客を呼び込む魅力的なスポットであり、多くの税収と数万人単位の雇用、大きな経済波及効果を生み出します。現在は法律で規制されているため国会での判断待ちでしたが、今年6月にカジノを含むIR整備を進めるIR推進法案が衆議院内閣委員会で審議入りし、年内の臨時国会で可決されると見られています。

今後、来年の通常国会でIR実施法案の可決を経て地域の指定が行われ、有力候補地である大阪が選ばれれば東京オリンピックが開催される二〇二〇年までに完成する見込みです。IRは民間企業の費用で建設・運営される施設であり、海外からの投資を呼び込むという意味でも効果は大きいと看えます。大阪府はお金は出さず、管理する役割を務めます。IRが実現すれば同じ大阪ベイエリアに位置する堺にとっても大きなチャンスです。市民の皆さんの理解を得て、実現に向けて取り組んでいきます。

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>



[永藤英機 プロフィール]

昭和51年7月13日生まれ(38歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務。その後ファインシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。年越しの想いが叶い、2011年4月、大阪府議会議員に当選。



■府政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB:<http://nagafujihideki.com/>

FAX:(072)344-5676 MAIL:info@nagafujihideki.com



ご意見
ご感想をお寄せ下さい

